



鱈小タイムズ

令和 2年 8月24日
流山市立鱈ヶ崎小学校
在籍児童数 632名
8. 9月号

読書の夏

校長 山口 謙

今年の鱈ヶ崎小の夏休みの宿題は読書感想文だけでした。そこで子供たちの気持ちを少し味わおうと、この期間に意識して本を読みました。感想文というわけではありませんが読んでみて自分が感じたこと、考えたことをお伝えしたいと思います。

紹介したい1冊は、少し前に話題になっていた「ぼくはイエローで ホワイトで、ちょっとブルー」という本です。著者はブレイディみかこさんという保育士・ライター・コラムニストで1996年からイギリスのブライトンにお住まいです。アイルランド系イギリス人のご主人とその間に生まれた中学生の息子との3人家族。著者によれば、住んでいるのは「荒れている地域」と呼ばれている元公営住宅地。そこで生まれ育った東洋系の顔をした息子が、それまで通っていた（緑に囲まれピーター・ラビットが出てきそうな）カトリックの小学校から地元の普通の公立中学校に進学したことからこの話は始まります。イギリスはソーシャルアパルトヘイトが社会問題になっており、普通の公立中学校はいわゆる普通ではなく、殺伐とした英国社会を反映するリアルな場で、いじめもレイシズム（人種主義）も喧嘩もあり、眉毛のない上級生や場末のバーのマダムのような化粧をした女子生徒がいるそうです。そこにカトリック系小学校で色々な国籍の同級生と仲良く穏やかに育ってきた少年が入学して、何を体験し、何を考え、どんな人間になっていくのか、心配と共にはたいてい興味を惹かれるシチュエーションが舞台のエッセイです。紹介だけでかなりの文面を使ってしまいました。あまりよくない感想文の典型になりそうです。そこで、良い感想文の王道を放棄し、印象に残った部分を散発的に紹介することでこの本の良さを伝えたいと思います。

主人公は入学後、イギリス人の少年とハンガリー移民の少年と仲良くなり、両方から”一緒に帰る”ことを望まれた場面がありました。以下母との会話「うん。どうしてこんなにややこしいんだろう。小学校の時は、外国人の両親がいる子たくさんいたけど、こんな面倒なことにはならなかったもん」「それは、カトリック校の子たちは、国籍や民族性は違っても、家庭環境は似ていたからだよ。みんなお父さんとお母さんがいて、フリー・ミール制度なんて使っている子いなかったでしょ。でも今あんたが通っている中学校には、国籍や民族性とは違う軸でも多様性がある」このくだりでは”多様性ってやつは物事をややこしくする。無ければ楽だけど・・・”などと主人公は母と話します。日本でも多様性の受容はこれからの社会での課題です。考えさせられることがたくさんありました。

次に「エンパシー」という言葉の表す意味を考えるくだりも興味を引かれました。イギリスには「シティズンシップエデュケーション（政治教育・公民教育）」という教科があり、3問しかない期末試験の1問目が「エンパシーとは何か」という問題でした。ここで少年は「自分で誰かの靴を履いてみる」と答えています。エンパシーに似た言葉にシンパシーがあり、英英辞典によれば、シンパシーは〈誰かをかわいそうと思う感情、誰かの問題を理解して気にかけていること〉、エンパシーは〈他人の感情や経験などを理解する能力〉となっています。さらにケンブリッジ大学の英英辞典のサイトでは、エンパシーを〈自分がその人の立場だったらどうだろうと想像することによって誰かの感情や経験を分かち合う能力〉と丁寧に書かれています。つまり、シンパシーは感情や行為や理解なので努力して獲得するものではないが、エンパシーは能力なので、努力して身につけなければならない、と母親は語っています。やっかいな相手・出来事にどう対処していくか、これからの時代を生きる子ども達にとって大変重要な力なのか

もしもかもしれません。イギリスの（問題の多い地域の）中学校の期末試験の主問題がエンパシーの意味を問うものだったことは興味深いと思いました。他にもこの本には、元底辺中学校の先生達の姿や LGBT の問題が身近にある学校生活など日本の公立学校の教師として新鮮に思う出来事がたくさん出てきます。大きな視点で学校の在り方や教育の在り方を考える良い刺激になりました。

短かった夏休みが終わり、いよいよ2学期のスタートです。コロナ禍の去らない中での2学期の始まりとなります。引き続きご理解とご協力をいただくことが多くなるとは思いますがよろしくお願ひいたします。

こんなこと知っていますか？

学校でも働き方改革を進めています。

新聞等でも報道されているとおり、今学校ではコロナ対策のため、様々な感染予防対策をしています。例えばどの学校でも必ず行っていることのひとつが「消毒」です。

現在、学校では文科省の「学校の新しい生活様式」を踏まえて消毒を行っています。児童下校後、大勢がよく手を触れる場所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は毎日1回、消毒液を浸した布やペーパータオルなどで拭いています。また、トイレや洗面所も消毒しています。通常的生活ではなかった新たな学校の業務として今は「消毒作業」が入ってきました。だいぶ慣れてきましたが、それでも時間にして約15分はかかります。早くコロナ禍が去ってほしいというのは、学校職員にとっても切実な願ひです。

8・9・10月の予定

8月	
24日(月)	第2学期始業式 3時間授業
25日(火)	給食開始 聴力検査5年 発育測定(高・たいよう)
26日(水)	発育測定・聴力検査(低)
27日(木)	発育測定(中)聴力検査3年
9月	
1日(水)	教育相談日
7日(月)	委員会活動 避難訓練(地震)
8日(火)	代表委員会 学校開放会議
10日(木)	尿検査回収日 登校指導日
14日(月)	クラブ活動
16日(水)	歯科検診
18日(金)	内科検診
25日(金)	脊柱側彎症検診(5年生)
10月	
2日(木)	交通安全教室(1~4年生)
5日(月)	委員会活動
6日(火)	全校朝会(予定) 代表委員会 教育相談日
	5年生ボッチャ体験
8日(木)	登校指導日 1年生公園探検(1, 4組)
9日(金)	学習参観・懇談会
12日(月)	クラブ活動
14日(水)	防犯教室(1, 2年生)
16日(金)	1年生公園探検(2, 3組)
19日(火)	ワンポイント避難訓練
21日(水)	耳鼻科検診(2・4・6年・たいよう)
26日(月)	クラブ活動

学校評価委員会



7月28日に第1回目の学校評価委員会(鯖小を応援する会)が行われました。地域の自治会長様を始めとした19名の委員の皆様には鯖小の様子を参観頂きました。協議会では児童の元気な挨拶や英語学習のレベルの高さ、先生方のきめ細やかな指導などについてお褒めの言葉を頂きました。

6年生ハッピーウイーク



休校の影響から終業式が1週間延びた6年生。ハッピーウイークと名付けられたこの週は、6年生が考えた企画で盛り上がりました。最終日はたくさんの先生方とふれあいながら、特別な夏の思い出を刻みました。

お知らせ

- 新型コロナウイルス感染症予防のため今年度は事業参観及び懇談会の開催を見送ってききましたが、10月にはオンラインを活用した授業参観を計画しております。詳しくは別途配布される文書をご覧ください。